

私たちは2030年大会招致を応援しています

❄️ 北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック招致応援大使

北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピックプロモーション委員会のアスリート委員に「北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック招致応援大使」に就任していただき、大使個人のSNS等を活用した応援メッセージの発信や各種イベントへの出演などを通じて機運醸成をより一層推進していただきます。



2010バンクーバーパラリンピック
ノルディックスキー銀メダリスト

太田 渉子さん

生まれつき左手指がない私は右手1本でスキーをします。幼いときにパラスキーの選手の力強い滑りや速さを目の当たりにして度肝を抜かれました。

そして、先輩たちの背中を追いかけて、パラリンピックへの挑戦を通してスーパーヒーローと出会い、たくさんの素晴らしい経験をしました。

札幌・北海道で2030オリンピック・パラリンピックが開催されたら、日本中の子どもたちが世界のトップアスリートの試合を観戦したり、トップアスリートと交流できる素晴らしい機会になると信じてます。

私は小学校の体育の授業で初めてスピードスケートの靴を履きました。自分が将来この競技でオリンピックメダリストになるなんて思ってもいませんでしたが、ある時、冬季オリンピックを間近で観戦し、想像以上の凄さに鳥肌がたつのを感しました。

そこから「オリンピックに出場したい!」と思うようになり着実に身体を作り上げ、諦めずに夢を追いかけて、叶える事が出来ました!

お子様からお年寄りの皆様方と一緒にドキドキしながら、会場でトップアスリートたちの激動を感じ応援し、勇気や感動を共有しながら共に歴史に残したいです。このチャンスを逃すのは勿体ない!子供たちの為にぜひとも北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック開催に期待しています。



1998長野オリンピック
スピードスケート銅メダリスト

岡崎 朋美さん



2010バンクーバー・2014ソチパラリンピック
アルペン金メダリスト

狩野 亮さん

私はテレビで長野パラリンピックの滑降競技を目にした時から、パラリンピックの世界を目指し競技者としてスタートを切りました。

そこから20数年間の競技生活で、最も感じたことは『人として成長』させてもらったことです。私自身は競技者としてのきっかけをもらいましたが、北海道・札幌で、もしオリ・パラが開催された時には、きっと皆さんにとっても多くの機会を手にする大会になるのではないかと思います。

様々なご意見があるとは思いますが、札幌大会が実現し開催された時には、関わって下さった皆さんが少しでも豊かな人生へと変わっている、そんな素晴らしい大会が北海道・札幌で実現できたら嬉しく思います。



2010バンクーバーパラリンピック
パラアイスホッケー銀メダリスト

永瀬 充さん

19歳の冬、病院のベッドの上で夢も目標も持てなかった私に大きな希望を与えてくれたのは、その3年後に開催される長野パラリンピックの存在でした。

パラリンピックは社会の多様性を考え、人間の可能性を感じることができる大会で、日本で開催された3大会を通し、大きな影響を与えてきました。

北海道・札幌で開催されることで、多くの人に勇気や希望を与え、誰もが暮らしやすい社会が変わっていきます。ぜひ、北海道・札幌大会を多くの人たちの力を合わせて実現し、成功させましょう!

私は1998年日本で開催された、長野オリンピックに出場しました。日本中の注目が長野に集まり、皆さんの熱い応援が大きな力となって、私達選手を後押ししてくれたと感じています。

北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピックは、これまで積み上げてきた札幌の歴史を、次の50年先の新しい札幌につなげる為、大会開催をきっかけにし、市民一人一人がひとつになり、大きな力となって、次のステージへ上がるものと思います。

ぜひ、北海道のみなさんと一緒に2030年の北海道・札幌オリンピック・パラリンピックを実現したいです!



1998長野オリンピック
スキー・ジャンプ金メダリスト

原田 雅彦さん

私たちが2030年大会招致を応援しています



シンガーソングライター
大黒 摩季さん

アスリートの方々が魅せてくれる、人間が持つポテンシャル、勇気や情熱、希望、諦めずにやり抜くことの素晴らしさなどは、未来を担う子どもたちに情操的な成長を促します。

パラリンピックの開催は、バリアフリーをはじめ様々な環境開発・意識改革へのリテラシ

ーを高め、大会後には便利で理解ある社会が持続します。

2030年に大会を開催するという目標に向かって、街が一つになり、絆が生まれ、将来の街の発展に向かって、エネルギーで革新的な発想が生まれます。

愛する故郷が活性化し、さらに美しく、住みよく、便利になり、日本一、いえ世界に誇れる素晴らしい場所になるのをぜひ一緒に体感しませんか。



1998長野オリンピック
スピードスケート
金メダリスト

清水 宏保さん

ぼくは、1998年の長野大会で夢だった金メダルを獲ることができましたが、振り返ってみると本当に幸せな選手生活を送れたと思っています。

自国開催ということで、会場全体から多くの声援をもらい「力をもらった」、「背中を押しもらった」という感覚

が生まれたのを鮮明に覚えています。

そして、あれから約20年が経ちましたが、今でも多くの人の記憶に残してもらっていて本当にありがたいですし、もし札幌で冬季大会が開催されるのであれば、正直なところ「うらやましい」と感じます。

競技に励んでいるアスリートたちのためにも、ぜひ、2030年の大会を札幌で開催して欲しいと思います。

2030



世界が驚く、





冬にしよう。



みんなで
冬季オリンピック・
パラリンピックを
北海道・札幌に。

©フロススポーツ/JOC



掲載の写真については、日本オリンピック委員会の許諾を得て使用しています。

札幌市の冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する取組については
下記URLまたは右のQRコードからご覧ください

<https://www.city.sapporo.jp/sports/olympic/menu.html>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



令和4年(2022年)11月発行

編集・発行 札幌市スポーツ局招致推進部調整課

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目 ORE札幌ビル9階
TEL.011-211-3042 FAX.011-211-3048



さっぽろ市
01-E02-22-2105
R4-1-143

